

＝ 病院の理念 ＝
 人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

東葛の健康

№ 465 2023年 5月号
 [毎月5日発行] (定価1部20円)
 発行 東京勤労者医療会東葛病院 院長 井上 均
 〒270-0153 千葉県流山市中102-1
 TEL 04 (7159) 1011(代)
 FAX 04 (7158) 9202
<http://www.tokatsu-hp.com/services/out/organization/>

総合診療科のはたす役割とは

東葛の医療
総合診療科

病気とはいえないけど
 困っている健康問題まで



齋藤さやか医師

はじめまして。このたび東葛病院総合診療科に入職しました齋藤さやかです。生まれ育ちは松戸市ですが、名古屋大学医学部に進学し、2003年大学卒業後に千葉に戻って参りました。

総合診療科としての研修を受け、家庭医療専門医(現プライマリ・ケア連合学会認定)です。

総合診療科って何ですか？

私が医師免許を取得した頃は、『総合診療医』という専門性がまだ社会の中に確立しておらず、知名度も低いものでした。親戚に「何科の医者になったのかね?」と聞かれても、答えに困るような時代でした。その後、メディアなどの影響もあり、『総合診療医』という専門性もだいぶ知名度が上がってきたように思います。

あるテレビ番組では、診断に困るような病態をスバツと診断する、といった役割が定着しましたが、私の

思い描いている「総合診療医」の像はちょっと違います。

番組内で描かれるような華々しい場面は実際には起こらないのですが、どの科に行ったらよいのか分からないうち、あちこち行ってみたい、という方の診療は

新たに規定された「総合診療専門医」

医師の専門医資格のあり方について、最近、大きな変革がありました。その中で日本専門医機構は2018年、「総合診療専門医」を規定しています。



東葛病院総合診療科

次の様に記載されています。

「日常遭遇する疾病と傷害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供することも、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看取りなど、保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する人々の命と健康に関する幅広い問題について適切に対応する使命を担う」

この役割を果たすための研修プログラムには外来・救急・病棟・在宅といった多様な場面、診療所や中小規模病院、大学病院といった異なる規模と役割を持った医療機関、小児、若者、青年、妊婦、高齢者といったあらゆる年代、性別、健康上の問題を抱えている人も健康な人も含めた地域といったさまざまな場面、状況で診療科を越えた研修を行うこととなります。

東葛病院の総合診療科 東葛病院においても日本専門医機構の総合診療専門医を養成するため「東葛病院総合診療専門研修プログラム」が認定されています。



本プログラムでも、多くの法人診療所や病院のさまざまな診療場



面での研修を組んでいます。このなかで東葛病院の総合診療科の提供するべき医療について、次のように説明されています。

「臓器別でない病棟診療(高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括ケア、癌・非癌患者の緩和ケア等)と臓器別でない外来診療(救急や複数の健康問題をもつ患者への包括的ケア)を提供する」

ようやく長いトンネルから抜け出せるような気分でもある▼3年にも及ぶ新型コロナウイルス感染症への対応も5月8日をもって新しい段階へ移行していくことになった▼それにしてもコロナ禍で多くのことが変わってしまった▼ソーシャルディスタンスやマスクの着用、手指消毒アルコールやサーモグラフは街中にあふれるように置かれている▼マスクで本来の顔を見ることが無い人も多いし、お気に入りの居酒屋も閉鎖してしまったり、行きたくないライブも我慢したりした▼その反面オンライン会議やデジタル認証、リモートワーク(授業)など新しく便利に発展した分野もあつたりした▼それにしても自然界に存在するウイルスが日付を理解しているとはとても思えないが、兎にも角にも5月8日から政府は5類とすること、この災厄を終息させたいという思いがあるのだから▼そうは言っても日付が変わるだけでウイルスは急には変わらないので、皆さま引き続き感染対策に憂慮してお過ごしください。(阿)

聴診器

